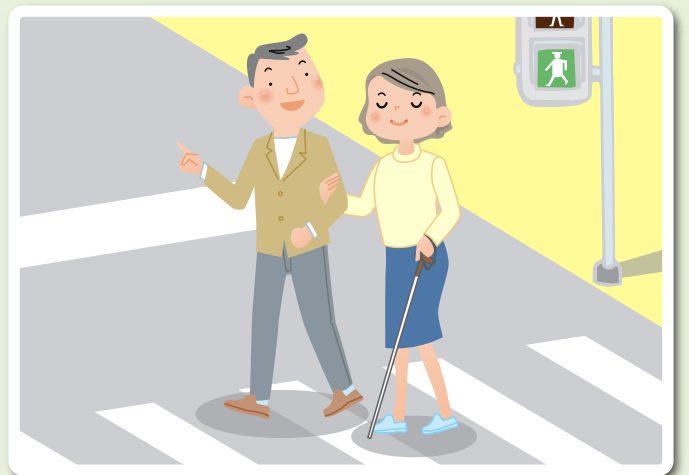


知る

ことから始める

しょうがいへの理解

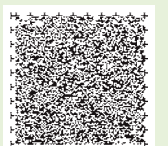
～とともに暮らしていくためのハンドブック～



この冊子には、視覚障がいのあるかたが音声で情報を知ることができるよう専用の活字文字読み上げ装置により音声で読み上げる「音声コード」が付されています。

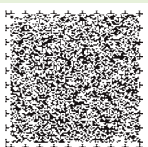


あおもりし
青森市



も く じ

はじめに	1
視覚障がい <small>しかくしょう</small> のあるかた	2
聴覚障がい <small>ちようかくしょう</small> のあるかた	4
音声機能障がい <small>おんせいきのうしょう</small> ・言語機能障がい <small>げんごきのうしょう</small> のあるかた	6
重症心身障がい <small>じゆうしょうしんしんしょう</small> のあるかた	7
肢体不自由 <small>したいふじゆう</small> のあるかた	8
内部障がい <small>ないぶしょう</small> のあるかた	10
知的障がい <small>ちてきしょう</small> のあるかた	12
精神障がい <small>せいしんしょう</small> のあるかた	13
発達障がい <small>はったつしょう</small> のあるかた	14
高次脳機能障がい <small>こうじのうきのうしょう</small> のあるかた	15
難病 <small>なんびょう</small> のかた	16
障がい <small>しょう</small> のあるかたのための各種 <small>かくしゆ</small> マーク	17
青森市障がい <small>あおもりししょう</small> のある人もない人も共に <small>ひとひとともい</small> 生きる社会 <small>しゃかい</small> づくり条例 <small>じょうれい</small>	18
コミュニケーションボード <small>かつよう</small> の活用	19



はじめに

私たちの周りには、障がいのあるかたやないかた、子どもやお年寄りなど、いろいろなかたが暮らしています。

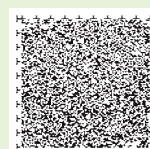
その中でも、障がいのあるかたは、それぞれの障がいの種類や程度により、日常生活や社会生活を送る上で、不便なことや困難に感じていることがたくさんあります。

障がいがあることが外見ではわかりにくいいため、まわりから理解されず、悩んでいるかたもいます。

しかし、周囲の人たちの理解やサポートがあれば、解決できることがたくさんあります。みなさんも困っているかたを見かけたときは、ぜひ、積極的に声をかけたり、手助けしてあげてください。

本市が、平成28年3月に策定した「青森市障がい者総合プラン」の基本理念として掲げる、障がいのある人もない人も誰もが互いを尊重し、支え合い、地域で安心して暮らしながら、生きがいを持って参加できる社会を実現するためには、私たち一人一人が、障がいへの理解を深めることが重要です。

このハンドブックは、障がいについての正しい知識や、障がいのあるかたがどのようなことに困っているのか、どのような配慮が必要なのかなどについて、障がいの種類ごとに掲載しておりますので、みなさんの障がいへの理解を深めるために、ぜひお役立てください。



視覚障がいのあるかた

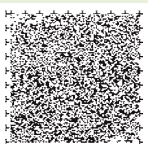
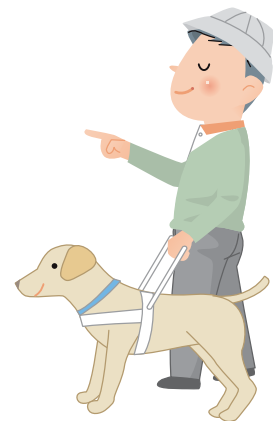
◆視覚障がいとは

視覚障がいには、全く見えない（全盲）、眼鏡などで矯正しても視力が弱い（弱視）、見える範囲が狭い（視野狭窄）、特定の色の判別ができないなどがあり、障がいの程度は、人それぞれに違いがあります。



◆障がいの特徴や困っていること

- ・文字を読むことや書類に文字を記入することが難しいかたが多くいます。
- ・目からの情報を得にくいいため、音声や手で触ることなどにより、情報を得ています。
- ・白い杖を使用していたり、盲導犬を連れているかたもいます。
- ・点字ブロックの上に自転車や車などが置かれていると、ぶつかって転ぶことがあるなど、歩行に危険が伴います。
- ・一部のお店では、盲導犬が一緒だと入店を拒否されることがあります。
- ・「見えている」と誤解を受けることがあります。



◆このようにことに配慮しましょう。

- ・困っているかたを見かけたときは、前から近づき、こちらから声をかけましょう。「何かお困りですか。」「何かお手伝いしましょうか。」など。
- ・横断歩道や公共交通機関などでは、特に配慮が必要です。
音の出ない信号機、信号機がない交差点、駅のホーム、バス停などは大変危険ですので、声がけをしたり、誘導してあげましょう。
「信号が青になりましたよ。」「前に行くとあぶないですよ。」など。
- ・ものの位置や場所などを説明するときは、「これ」「あれ」「あっち」などでは、わからないことがありますので、具体的な説明をしましょう。
「5歩くらい前」、「〇〇くらいの大きさ」など。
- ・誘導するときは、自分のひじの上を握ってもらい、相手の速さに合わせて半歩程度横前を歩くことが基本です。段差があるときや曲がるときには、声がけをするなどして、歩きやすいように工夫しましょう。

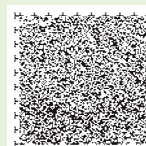
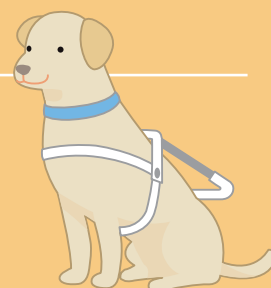


わたしたちはパートナー（身体障がい者補助犬）

身体障がい者補助犬とは、目や耳や手足に障がいのあるかたの生活をお手伝いする「盲導犬」・「聴導犬」・「介助犬」のことです。

障がいのあるかたのパートナーであり、ペットではありません。

公共の施設や交通機関、不特定多数のかたが利用するデパートやホテル、レストランなどの民間施設など、いろいろな場所で補助犬を受け入れることは、「身体障がい者補助犬法」で義務づけられています。あたたかく見守ってください。



ちょうかくしょう 聴覚障がいのあるかた

◆ ちょうかくしょう 聴覚障がいとは

ちょうかくしょう
聴覚障がいには、次のようなものがあり、その障がいの程度は、人それぞれに
ちが
違いがあります。

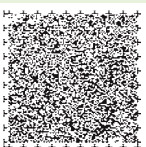
- ・ろう（あ）者は、生まれつき聞こえないかたです。
- ・中途失聴者は、成長の途中で聞こえにくくなったかたです。
- ・難聴者は、声や音が聞こえにくいのかたです。
- ・ろう重複（ろうじゅう）（盲ろうなど）は、聴覚障がいと他の障がいを併
せもつかたです。



◆ しょう 障がいの特徴や困っていること

みみ き
耳が聞こえないことは外見からでは気づかれにくいため、周囲の人たちに聞こ
えないことをわかってもらえなかったり、コミュニケーションが取りにくく、
そのため近所付き合いや役所での手続きの説明、病院での受診など、日常生
かつ しゃかいせいかつ
活と社会生活のいろいろな場面で困ることが
たくさんあります。

おと こえ しょうほう え
音や声による情報を得にくいため、手話や筆談、
イラストなど視覚からのしょうほう え いし そつう
情報を得て意思疎通
をはか
を図っています。



◆このようにことに配慮しましょう。

- ・障がいの発生年齢や受けた教育によってコミュニケーション方法はいろいろです。どのような方法がよいのか、本人に合わせましょう。
- ・コミュニケーション方法には、手話言語、筆談、口話、指文字、身振りなどがあります。
- ・筆談する場合は、できるだけ簡潔にまとめましょう。
- ・話しかけるときは、本人と対面してゆっくり話しましょう。
- ・聞こえないかたと会うときは、身振りや筆談などで話しかけてみましょう。
- ・災害時、緊急時などのサイレンや緊急放送に気づかない場合があるので、筆談や身振りなどで、情報を伝えましょう。



手話は言語です

平成18年に国連で採択された「障害者権利条約」では、「手話は言語」としています。手話通訳者は、聴覚障がいのあるかたのために必要であると思われていますが、外国語の通訳者と同様、手話を言語としているかたと日本語を言語としているかたとの意思疎通のために、双方にとって必要な存在です。

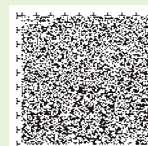
ひとめ 一目でわかる！ 手話マーク・筆談マークの活用

◆手話マーク・筆談マークとは

全日本ろうあ連盟では誰にでも一目でわかる、自由にコミュニケーションがとれる「手話マーク」・「筆談マーク」を作りました。

「手話マーク」は、「手話でコミュニケーションできる人がいます。」「手話で対応をお願いします。」、「筆談マーク」は、「筆談で対応できます。」、「筆談で対応をお願いします。」などの意味があります。

ろう者などに対するコミュニケーション手段の配慮について理解を広めるために、マークの普及・活用に努めましょう。



おんせい き のうしやう げんご き のうしやう 音声機能障がい・言語機能障がいのあるかた

◆ おんせい き のうしやう げんご き のうしやう 音声機能障がい・言語機能障がいは

はっせい こんなん おんせい き のうしやう ことば りかい てきせつ
発声が困難な音声機能障がいと、言葉の理解や適切な
ひようげん こんなん げんご き のうしやう せんてんてき ちょうかくしやう
表現が困難な言語機能障がいがあり、先天的な聴覚障が
いのために発話習得が不十分な場合や、脳血管障がいに
よる失語症など、様々なケースがあります。

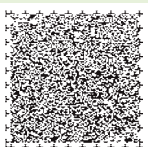


◆ しょうがいの特長や困っていること

- ・ はっせい き のう そうしつ なか しよくどうはっせいほう でんどうしきじんこういんどう しょう
発声機能を喪失したかたの中には、食道発声法や電動式人工咽頭などを使用し
て会話するかたもいます。
- ・ しつごしやう はなし い まちが き まちが
失語症のかたは、話をしていても言い間違いや聞き間違いをすることがあるほか、
ふくざつ ないやう なが ぶんしやう りかい むずか
複雑な内容や長い文章を理解することが難しいことがあります。

◆ このようなことに配慮しましょう。

- ・ はな
話すときは、ゆっくり、短く、わかりやすい言葉ではっきりと話しましょう。
- ・ き
聞くときは、言葉の一つ一つを聞き分けることが必要ですので、聞き取れない
ときは、わかったふりをせず、聞き返したり、紙に書いてもらうなどにより、
ないやう かくにん
内容を確認しましょう。
- ・ はな ことば いがい しゅだん ちず とけい ゆびさ つか
話し言葉以外の手段（カレンダー、地図、時計を指差すなど）を使うとわかり
やすい場合があります。



じゅうしょうしんしんしょう 重症心身障がいのあるかた

◆ じゅうしょうしんしんしょう 重症心身障がいとは

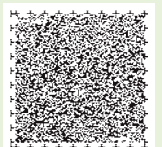
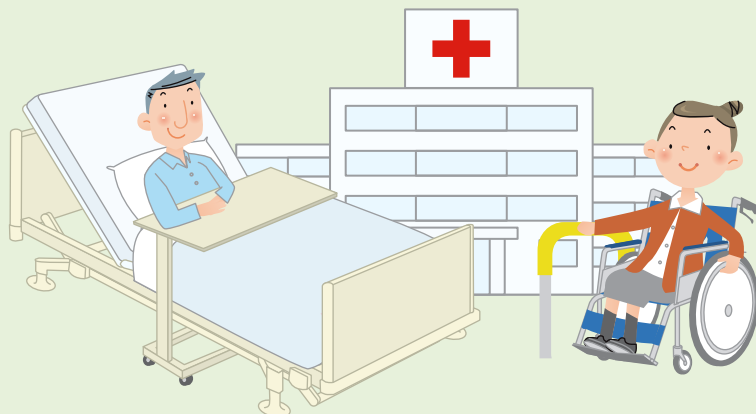
じゅうしょうしんしんしょう
重症心身障がいとは、じゅうど したいふじゅう て あし しょう
重度の肢体不自由（手や足に障がいがある）と、じゅうど
ちてきしょう ちようふく おも しょう
知的障がい重複した重い障がいのことです。

◆ しょう とうくちよう こま 障がいの特徴や困っていること

- ことば
言葉でのコミュニケーションが難しく、にちじょうせいかつ おく おお かいご
日常生活を送るために多くの介護が
ひつよう
必要です。
- こきゆう えいようせつしゆ こんなん いりようてき ひつよう
呼吸や栄養摂取が困難であり、医療的なケアを必要とするかたもいます。
- じりき いどう こんなん くるま ほ そうぐ ひつよう
自力での移動などが困難なため、車いすなどの補装具が必要です。

◆ このようなことに配慮しましょう。

- おも しょう
重い障がいがあっても、ひとりひとりこせい い いのち さんちよう
一人一人個性をもって生きている命を尊重しましょう。
- くるま い どう ふくすう かた かいじょ ひつよう こえ て
車いすなどでの移動に複数の方の介助を必要としているときは、声をかけ、手
だす
助けしてあげましょう。



肢体不自由のあるかた

◆ 肢体不自由とは

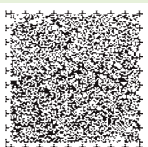
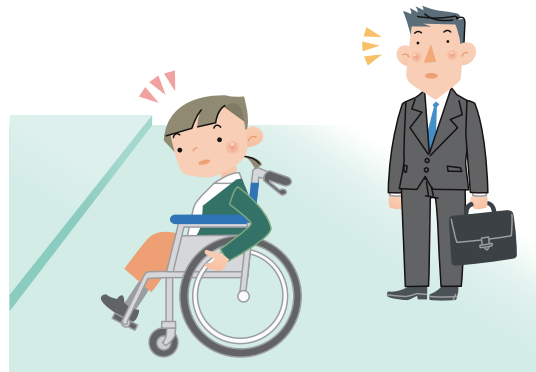
肢体不自由とは、病気やけがにより、手や足などの機能の一部、または全部に障がいがあることをい、歩いたり、立ったり、ものの持ち運びなどの日常の動作に支障があります。

そのため、多くのかたが杖や車いすなどを使用しています。



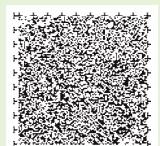
◆ 障がいの特徴や困っていること

- ・ 下肢に障がいのある場合、段差や階段、自動ドアなどがあるところでは、ひとりで進めないこともあります。また、歩行が不安定で転倒しやすいかたもいます。
- ・ 手にマヒがあったり、脳性マヒで不随意運動（自分の意思とは関係なく身体が動くこと）を伴う場合は、文字を記入することが困難なこともあります。
- ・ 脊髄の損傷により、手足が動かないだけでなく、感覚もなくなり、周囲の温度に応じた体温調節が困難なかたもいます。
- ・ 脳性マヒがある場合は、顔や手足などが自分の思いとは関係なく動いてしまうこともあり、また発語の障がいにより、自分の意思を伝えにくいかたもいます。



◆このようなことに配慮しましょう。

- ・困っているかたを見かけたときは、まずは声をかけ、本人の意思を確認してから、手助けしてあげましょう。
- ・車いすのかたに話しかけるときは、かがんで同じ目線で話すようにしましょう。
- ・車いすや杖などを使用しているかたの移動の妨げにならないよう、歩道に自転車を置いたり、通路にものを置いたりしないようにしましょう。
- ・買い物などで、高い場所や低い場所のものを取ったり、運んだりするのが困難なかたを見かけたときは、手助けしてあげましょう。
- ・バスの乗り降り、駅での乗り換えなど、ちょっとした段差や隙間などでも危険なときがありますので、移動の手助けしてあげましょう。
- ・車を運転するかたや車いすで乗車している場合は、乗り降りに広いスペースが必要です。障がい者マークなどのある駐車スペースは、障がいのあるかたなどの優先駐車スペースであることを理解し、駐車しないようにしましょう。



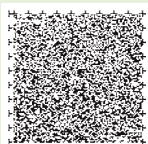
内部障がいのあるかた

内部障がいとは

内部障がいとは、内臓機能の障がいであり、心臓機能障がい、呼吸器機能障がい、じん臓機能障がい、ぼうこう・直腸機能障がい、小腸機能障がい、肝臓機能障がい、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能障がいがあります。

障がいの特徴や困っていること

- 心臓機能障がいでは、ペースメーカーなどを使用しているかたもいます。ペースメーカーは、電磁波の影響により、誤作動する場合があります。
- 呼吸器機能障がいでは、病気などにより呼吸機能が低下し体内の酸素が不足する症状があり、酸素を吸入するため、酸素マスクなどを使用する必要があります。
- じん臓機能障がいでは、病気などによりじん臓の機能が低下して、体内に有害な老廃物や水分が蓄積され、人工透析で定期的に排出する必要があります。
- ぼうこう・直腸機能障がいでは、病気などにより、ぼうこうや直腸が機能しなくなった状態で、排泄物を体外に出すための人工肛門や人工ぼうこう（ストーマ）をつけているかたもいます。
- 小腸機能障がいでは、小腸の切除などで消化吸収ができず、食事による栄養維持が難しいため、静脈からの輸液で栄養補給を受けているかたもいます。
- ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能障がいは、HIVに感染することによって免疫機能が低下した状態で、抗ウイルス剤を服用しています。



◆このようなことに配慮しましょう。

- ・特に電車やバスの優先席、障がい者等専用駐車スペースなどでは、理解と協力が必要です。
- ・重い荷物を代わりに持ってあげたり、席を譲るなど、身体への負担を考慮した配慮をしましょう。
- ・たばこの煙は、臓器に悪影響を及ぼすことがあるので、喫煙する場所に注意しましょう。
- ・人工肛門・人工ぼうこう（ストーマ）をつけているかた（オストメイト）には、オストメイト対応のトイレや広めの洋式トイレを案内しましょう。

ヘルプカード

聴覚障がいや内部障がい、精神障がい、発達障がい、高次脳機能障がいなど、外見からは障がいのあることがわかりにくく、理解されにくい障がいがあります。

ヘルプカードは、このような障がいのあるかたなどが、あらかじめ配慮してほしいことなどを記入し、日常生活や緊急時に周囲のかたに提示することで、配慮や手助けを求めやすくしようとするカードです。

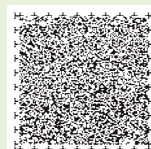


このカードを持っていて、何か困っているようなかたを見かけたら、まずは、「何かお手伝いすることはありますか？」と声をかけてみましょう。

ヘルプカードは、「手助けがほしい人」と「手助けできる人」をつなぐカードです。

○ヘルプカードについての問い合わせ先

青森市障がい者支援課（電話）017-734-5319



知的障がいのあるかた

知的障がいとは

知的障がいとは、日常生活や社会生活で現れる知的な働きや発達が同じ年齢の人たちとくらべてゆっくりしていることをいいます。

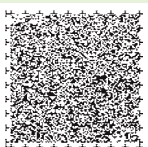
障がいの程度は、人それぞれに違いがあり、小さいころは、障がいが自立たないこともあります。

障がいの特徴や困っていること

- ・複雑な会話や文章の理解、計算などが苦手です。
- ・判断能力が不十分なことを、周囲の人たちに理解されにくく、誤解されやすいことがあります。
- ・自分の気持ちや意見をうまく伝えることができないことがあります。
- ・突発的な出来事に対して、状況に感じてうまく行動することが苦手です。
- ・周りの人にはささいなことでも、大声を出すなど過剰な反応を示してしまうことがあります。

このようなことに配慮しましょう。

- ・話すときは、ゆっくり、短く、わかりやすい言葉で話しましょう。
- ・漢字が苦手なかたもいるので、ひらがなを使ったり、写真や絵などを使ってコミュニケーションをとってみましょう。
- ・大人のかたの場合は、こども扱いしないようにしましょう。



せいしんしょう 精神障がいのあるかた

◆せいしんしょう 精神障がいとは

せいしんしょう
精神障がいとは、せいしんしつかん
精神疾患により、せいしんきのもつしょう
精神機能の障がいが生じ、げんちよう ひがい
幻聴や被害
もうそう ふあん ふみん
妄想、不安、不眠などのせいしんしょうじよう
精神症状やしんたいしょうじよう
身体症状が見られ、にちじようせいかつ
日常生活やしゃかいせいかつ
社会生活に
こんなん
困難が生じるじようたい
状態のことをいいます。

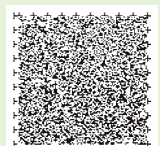
だいひようてき
代表的なせいしんしつかん
精神疾患としては、とうごうしつちようしょう
統合失調症やきぶんしょう
気分障がい（うつ病など）、てんかん、
さまざま
様々な依存症などがあります。

◆しょう 障がいの特徴や困っていること

- ・ストレスに^{よわ}弱い、^{つか}疲れやすい、^{たいじんかんけい}対人関係や^{にがて}コミュニケーションが苦手な^{おほ}かたが多いです。
- ・^{しゅうい}周囲から^{しょう}障がいについて^{りかい}理解されず、^{びようき}病気の^{たにん}ことを他人に^し知られたくないと^{おも}思っている^{おほ}かたも多いです。
- ・^{しゅうい}周囲の^{げんどう}言動を^{ひがいてき}被害的に^う受け止め、^{きようふかん}恐怖感を持って^{おほ}しまう^{おほ}かたも多いです。

◆このように^{はいりよ}ことに配慮しましょう。

- ・^{かんきよう}ストレスや^{へんか}環境の^{よわ}変化に^{りかい}弱いことを^{ふあん}理解し、^{かん}不安を感じさせないよう^{おだ}穏やかに^{せつ}接しましょう。
- ・^{しぜんたい}自然体で^{せつ}接するようにし、^{ほんにん}本人の^{いけん}意見や^{そうだん}相談に^{みみ}耳を^{かたむ}傾けましょう。
- ・^{ふようい}不用意な^{しったげきれい}叱咤^{ほんにん}激励は、^{ほんにん}本人の^{ばあい}ストレスになる^{ちゆうい}場合もありますので、^{ちゆうい}注意しましょう。



発達障がいのあるかた

◆発達障がいとは

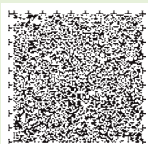
発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群などの広汎性発達障害、学習障害 (LD)、注意欠陥・多動性障害 (ADHD) など、脳機能の障がいであり、通常低年齢において症状が現れるものです。

◆障がいの特徴や困っていること

- ・相手の表情や態度、その場の雰囲気を読み取ることが苦手なこともあります。
- ・順序立て論理的に話すことが苦手なこともあります。
- ・自閉症などの広汎性発達障害では、人との関わりが苦手だったり、コミュニケーションが上手にとれない、特定のものや行為への強いこだわりを示すことなどがあります。
- ・学習障害 (LD) では、読み、書き、計算などの能力に遅れが見られます。
- ・注意欠陥・多動性障害 (ADHD) では、忘れ物が多い、時間やものの管理ができない、集中力が続かない、衝動的に行動する、感情をうまくコントロールできないなどのかたが多くいます。

◆このようなことに配慮しましょう。

- ・何かを説明するときは、できるだけ具体的な表現で、ゆっくり、わかりやすく、理解できるまで繰り返し説明しましょう。
- ・大勢の人の中にいることが苦痛とを感じるかたもいますので、本人がリラックスできる環境づくりに配慮しましょう。
- ・急に怒り出す、大声を上げるかたもいますが、過剰に反応せず、冷静に対応することを心がけましょう。



高次脳機能障がいのあるかた

◆高次脳機能障がいとは

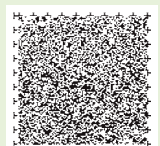
高次脳機能障がいとは、交通事故などによる頭部のけが、脳血管障がいなどの病
気により、脳が損傷を受けることで生じる認知障がいや行動障がいなどをいいます。
脳の損傷した部分により、症状は人それぞれに違いがあり、外見からはわかり
にくい障がいです。

◆障がいの特徴や困っていること

- ・ 記憶障がい…すぐに忘れる、新しいことを覚えられないことがあります。
- ・ 注意障がい…不注意が多く、集中力が続かなくなったりします。
- ・ 遂行機能障がい…計画を立てて物事を進められないことがあります。
- ・ 社会的行動障がい…些細なことでイライラし興奮したり、欲しいものが我慢できなくなったりします。

◆このようなことに配慮しましょう。

- ・ 短い文や単語を使うなど、わかりやすい会話を心がけましょう。
- ・ 情報を伝えるときは、イラストや写真などの活用も有効です。
- ・ 脳を損傷したかたは、疲れやすいので、本人のペースに合わせて、こまめに休憩を取らせましょう。



なんびょう 難病のかた

◆なんびょう 難病とは

なんびょう
難病とは、げんいんふめい ちりょうほうほう かくりつ びょうき けつえきけいしっかん
原因不明で治療方法が確立されていない病気であり、血液系疾患、
めんえきけいしっかん しんけいきんしっかん
免疫系疾患、神経筋疾患などがあります。

それぞれのびょうき うんどうきのう しょうかききのう めんえききのう からだ さまざま きのう しょう
それぞれの病気で、運動機能、消化器機能、免疫機能など体の様々な機能に障
がいがみられます。

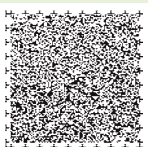
このうち、いりょうひ じよせい たいしょう していなんびょう へいせい ねん がつ にちげんざい
医療費助成の対象となる指定難病は、平成29年4月1日現在で、パー
キンソンびょう かいようせいだいちょうえん ぜんしんせい しっかん
キンソン病、潰瘍性大腸炎、全身性エリテマトーデスなど330の疾患があります。

◆しょう 障がいの特徴や困っていること

- いた だつりよくかん けんたいかん がいけん しょうじょう なや
・痛みや脱力感、倦怠感など外見ではわかりにくい症状に悩まされているかたも
おほ
多くいます。
- ひ
・日によって症状の変化が大きいといった特徴や、しんこうせい しょうじょう おほ しゅうき
進行性の症状、大きな周期で
かいふく あつか くりかえ
の回復と悪化を繰り返すことがあります。
- げんごしょう しし
・言語障がいや四肢のマヒなどにより、かいわ いし でんたつ こんなん
会話や意思伝達が困難なかたもいます。

◆このようにすることに配慮しましょう。

- それぞれのなんびょう しょうじょう こと しょうたい へんか おう ほんにん かぞく
それぞれの難病で症状が異なるため、状態の変化に応じて、本人や家族などの
きぼう かくにん ふたん たいおう こころ
希望を確認しながら、できるだけ負担をかけない対応を心がけましょう。



しょう かくしゅ 障がいのあるかたのための各種マーク

◆これらのマークを見かけたら、障がいのあるかたへの配慮について、ご理解とご協力をお願いします。

しょう しゃ こくさい 障がい者のための国際シンボルマーク

しょう しゃ こくさい
障がいのあるかたが利用しやすい建物や施設であることを表すマークです。

くるま りよう
車いすを利用するかただけでなく、障がいのあるかたすべてを対象としています。



しんたいしょうがいしゃひょうしき 身体障害者標識

しんたいしょうがいしゃひょうしき
肢体不自由のあるかたが車に表示するマークです。やむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った場合は、道路交通法違反になります。



ちようかくしょうがいしゃひょうしき 聴覚障害者標識

ちようかくしょうがいしゃひょうしき
聴覚障がいのあるかたが車に表示するマークです。やむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った場合は、道路交通法違反になります。



もうじん こくさい 盲人のための国際シンボルマーク

もうじん こくさい
視覚障がいのあるかたの安全やバリアフリーを考慮した建物・設備・機器などに付けられているマークです。



みみ 耳マーク

みみ
聞こえが不自由なことを表すマークです。このマークを表示しているかたには、手話で話しかけるか、「ゆっくり話す」「筆談する」などの配慮をお願いします。



ほじょけん 犬マーク

ほじょけん
身体障がい者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の啓発のためのマークです。補助犬は公共施設やデパート、スーパー、飲食店などへも同伴できることになっています。



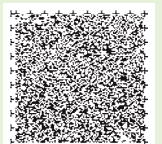
オストメイトマーク

オストメイトマーク
人工肛門、人工ぼうこう(ストーマ)をつけているかた(オストメイト)のための設備があることを表すマークです。オストメイト対応のトイレの入口・案内誘導プレートに表示されています。



ハートプラスマーク

ハートプラスマーク
身体内部（心臓、呼吸機能、じん臓、ぼうこう・直腸など）に障がいのあるかたを表すマークです。電車の優先席や障がい者専用駐車スペースなどに表示されています。



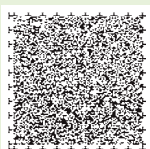
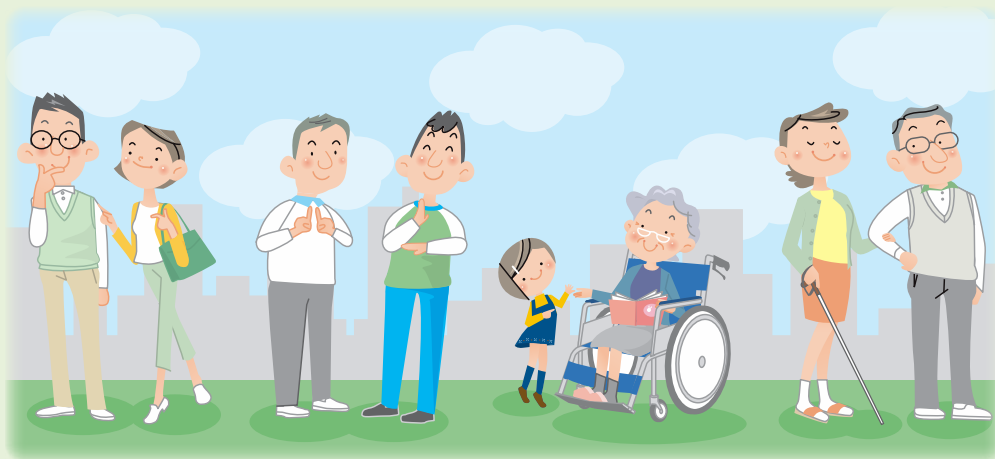
青森市障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例

私たちの住む青森市は、世界有数の豪雪都市であることから、特に外出時において障がいのある人が困難な状況に直面するなど、厳しい自然環境にありながらも、障がいのある人が安心して暮らすことができるまちとなるよう、これまで、互いを尊重し支え合う社会の形成、障がいのある人の地域生活支援の充実、障がいのある人の自立した生活の確保や障がいのある人の安全・安心な暮らしの確保を基本方向として、様々な施策を進めてきました。

しかしながら、障がい及び障がいのある人に対する理解不足や誤解などにより、障がいのある人が、障がいを理由に不利益な取扱いを受けていたり、障がいに対する配慮が十分ではないと感じている状況が見られます。

このような状況を踏まえ、本市においても、障がいのある人もない人も、誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として、これまで以上に人格と個性が尊重されるためには、障がいや障がいのある人に対する市民の理解を深めるとともに、障がいのある人に対する差別の解消及び障がいのある人の権利を尊重するための取組を推進していく必要があると考え、誰もが互いを尊重し、支え合い、地域で安心して暮らしながら、生きがいを持って参加できる共生社会の実現を目指し、「青森市障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」を制定しました。ぜひみなさんも障がいへの理解を深め障がいのある人もない人も共に生きる社会づくりに協力してください。

(平成29年3月制定 4月施行)

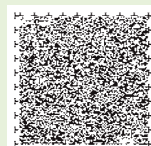
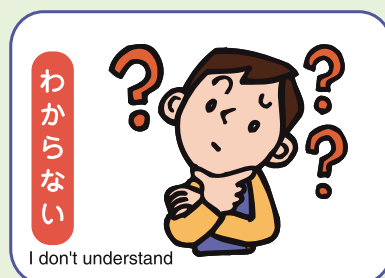
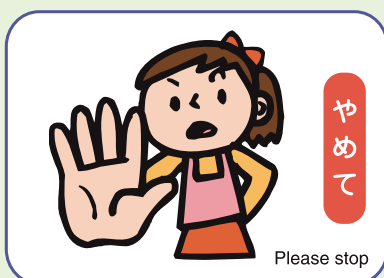
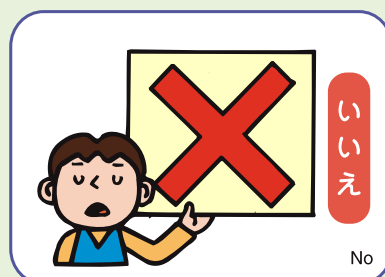
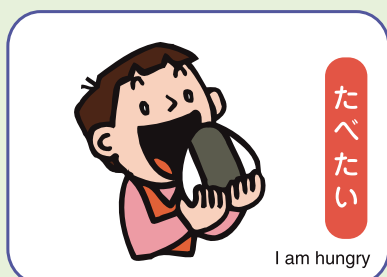
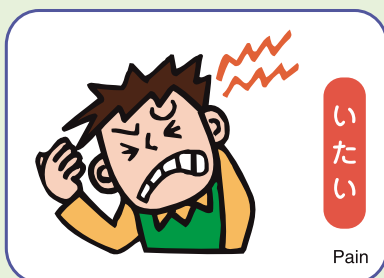


コミュニケーションボードの活用 かつよう

◆コミュニケーションボードとは

コミュニケーションボードは、話し言葉によるコミュニケーションが苦手な知的障がいや発達障がいのあるかたなどのコミュニケーション支援ツールの一つです。日常生活の様々な場面で、活用することができます。

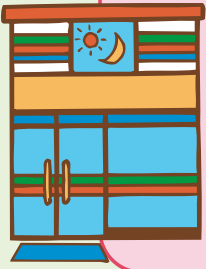
※ここでは、公益財団法人 明治安田こころの健康財団のコミュニケーション支援ボードを紹介しております。



おみせ

お店

Shop



レジ

A cash register



どこに？

Where ?

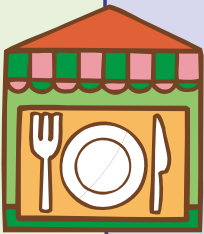


案内所

Information desk

レストラン

Restaurant



メニュー

Menu



お水をください

Can I have water ?



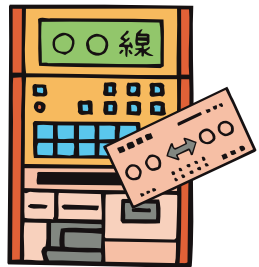
いくら？

How much ?

えき

駅

Station



きっぷ

Ticket



のりば

Platform



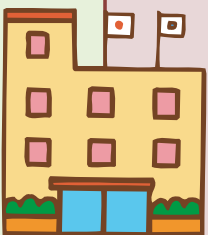
出口

Exit

やくしよ

役所

Government office



うけつけ

Reception desk



ふくしか

Welfare department

けいさつ

警察

Police station



みち道をおしえて

Please show me the way



おとした

I lost something



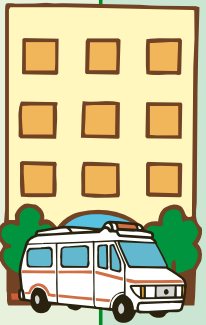
たすけて

Help

びょういん

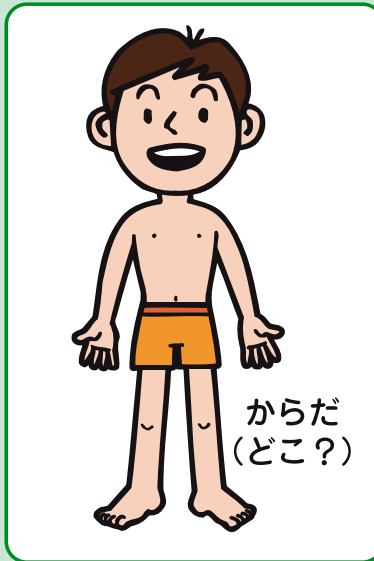
病院

Hospital



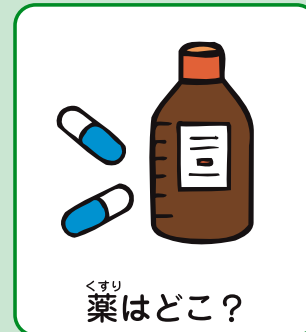
いたい

Pain



からだ(どこ?)

Which body part ?



くすり薬はどこ?

Where is the medicine ?

What is your _____?

あなたの？



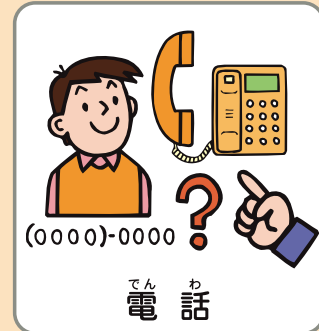
なまえ

Name



じゅうしょ

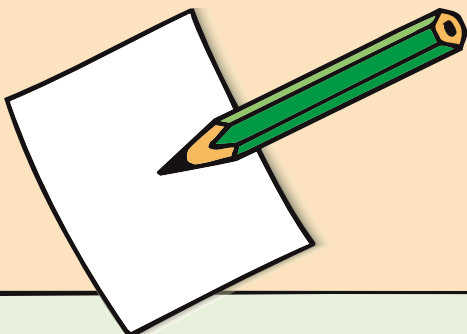
Address



(0000)-0000

でんわ

Telephone number



なまえ

じゅうしょ

でんわ

